

日田 川・まち みらいづくり懇談会

～庄手地区川づくりワークショップ～
～第6回～

平成19年6月29日

本日の討議内容

本日の討議内容は、

- ・庄手川川づくりプラン(素案)について
- ・今後のスケジュールについて
- ・川づくりプランに対するアンケートについて
- ・筑後川フェスティバルについて

川づくりプラン(素案)－事務局修正案－

【川づくりのコンセプト】

- ◆河川環境の改善を目指した川づくり
- ◆家族で遊べる川辺づくり
- ◆賑わいのある川づくり

【川を感じゆっくり、ゆったり、くつろげる場所】

- ◆日田温泉街から浄明寺橋間を周遊できる動線を確保するために、沿地区の歴史的景観に配慮した散策路の整備を行い、川と周辺の景観が創り出す風景を楽しむことができるようにします。
- ◆散策中に水際に近づきたくなるよう、護岸の勾配を緩くするとともに、河川環境を改善します。
- ◆家族で遊んだり、散策中にゆっくりにくつろげるような場所となるよう配慮します。



【自然を感じ、自然を楽しむ場所】

- ◆現存する河畔林を保全するとともに、キャンプ場や駐車場の整備を行うことで、自然を楽しむような空間とします。
- ◆庄手川を周遊できるよう動線を確保します。

【川を眺めながら楽しく歩いたり、水遊びをする場所】

- ◆コンクリート護岸の撤去を行い、河畔林を保全し、昔の川本来の姿を取り戻すことを目指します。
- ◆庄手川を周遊できるよう動線を確保するとともに、堤防からの坂路や橋からのアクセス階段を整備することで、色々な場所で川を眺めながら散策できるようにします。
- ◆瀬や淵の創出、流速の緩和、親水性の向上に配慮し、子供達が川に入ったり、魚釣りをしたりして楽しめることができる空間とします。

川づくりプラン(素案)の相反する意見について①

【議題①】

- ・全川的な遊歩道
- ・遊歩道をなくす(石河原を散策する)
- ・高水敷をなくして川幅いっぱいにな水をながす

〔第5回ワークショップでの主な意見〕

- ・川幅が広いところや景観に配慮して場所を限定して造ってはどうか
- ・両岸に遊歩道を造ってほしい
- ・舗装に関しては、人工的なものではなく、自然に近いものがよい
- ・遊歩道は自然の形で通れるところを通っているうちに道となるようなものがよい
- ・川に近づきやすい遊歩道
- ・川幅を広く
- ・新たな遊歩道はいらない



川づくりプラン(素案)の相反する意見について①

～川づくりの方針～

- ・現在の川の姿は直線で単調であることから、川を昔の姿に戻すことを優先し、遊歩道は整備できる場所及び利用促進に有効と考えられる場所に整備する。
- ・動線は極力上流から下流まで周遊できるように確保する。

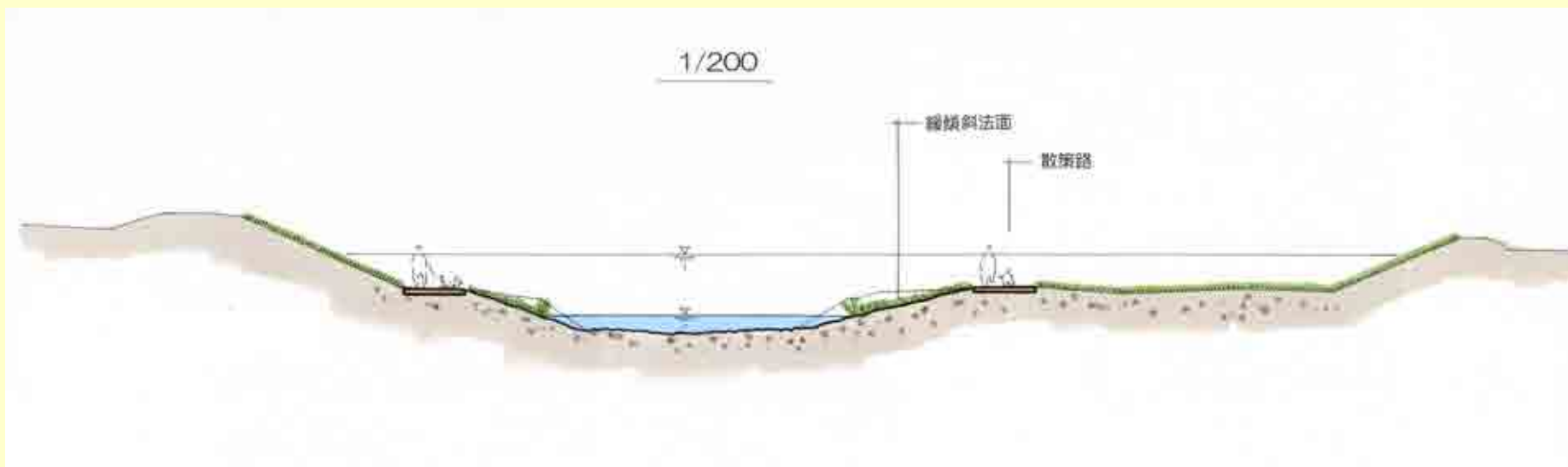


【川づくりプランへの反映】

- ・川を自然な形で蛇行させるとともに、水際ラインに変化をつける
- ・自然な河岸とし、勾配を緩くすることで川幅を広げる
- ・遊歩道は全川を通しての動線確保の為に場所を選択し、設置する

横断イメージ

〔横断イメージ〕



既設護岸を撤去し、緩やかな河岸にすることで、川幅が広がり、水際に近づきやすくなります。

遊歩道の整備水準

〔遊歩道の整備水準〕

遊歩道の整備水準に整備レベルを設定し、周辺の状況や想定される利用頻度によって使い分けを行います。



レベル高

遊歩道部を舗装し、境界をハッキリとさせ、維持管理を行う。



レベル中

自然に近い舗装材を用い、境界も自然のままとする。



レベル低

特に舗装を行わず、自然のままとする。

水際から高水敷までの整備水準

〔水際から高水敷までの整備水準〕

水際から高水敷までの整備水準に整備レベルを設定し、周辺の状況や想定される利用頻度によって使い分けを行います。



レベル高

張芝等を行い、維持管理を常に行う。



レベル中

植生は自然に任せるが、年数回の維持管理を行う。



レベル低

植生は自然に任せ、年1回程度の維持管理を行う。

川づくりプラン(素案)の相反する意見について②

【議題②】

- ・全川を通してカヌーで通れるように整備
- ・飛び石の設置

〔第5回ワークショップでの主な意見〕

- ・カヌーの利用は場所を限定して行えば良いのではないか
- ・カヌーの利用は浄明寺橋～亀川橋間
- ・カヌーの利用は浄明寺橋～合流点付近
- ・カヌーの利用はいらない
- ・飛び石の設置とカヌー利用の両方を行いたい
- ・飛び石は必要ない



川づくりプラン(素案)の相反する意見について②

～川づくりの方針～

- ・昔の川の姿に戻せば、水際の勾配は緩くなるため、どこからでもカヌーの利用は可能になると考え、特にカヌーに配慮した整備は行なわない。
- ・動線確保の為に飛び石を設置する。



【川づくりプランへの反映】

- ・庄手川にカヌー発着所は整備しない(ただし、合流点付近には設置)
- ・浄明寺橋の上流右岸、下流左岸、みどり橋下流付近、合流点付近に飛び石を設置

飛び石について

飛び石については、様々は形状が考えられます。
設置する場所、想定される利用頻度、利用形態により、形状を選定していきます。

〔飛び石の例〕



熊本県・合志川



京都府・鴨川



長崎県・本明川

落差工について

〔落差工の設置の目的〕

- ◆水の流れに変化をつける
- ◆周辺の風景が水面に映り込むことによる風景の一体化
- ◆水遊び場の確保

〔落差工の例〕



京都府・鴨川



大分県・花月川

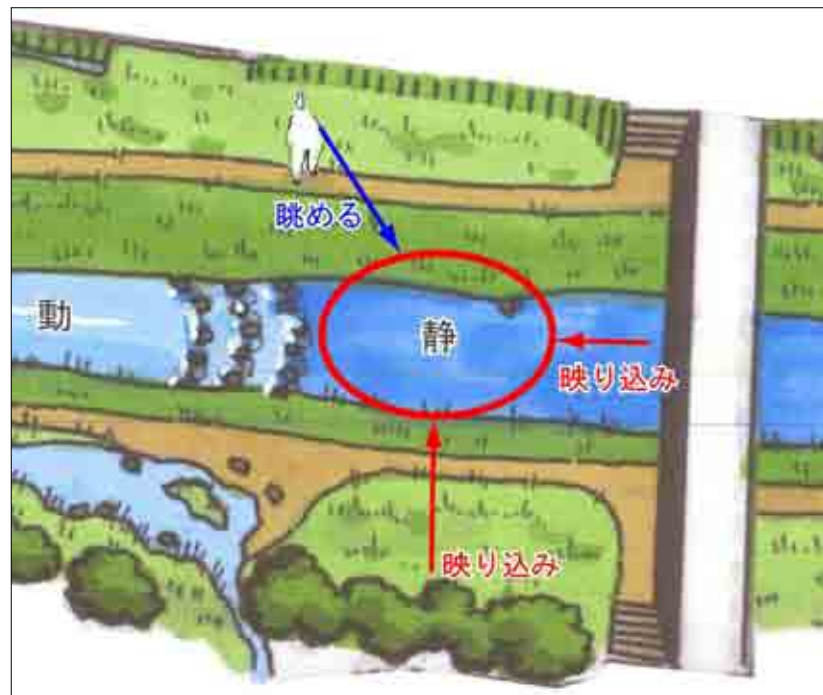


大分県・大山川

落差工について

〔落差工の設置場所〕

- ◆橋や河畔林などが水面に映り込む場所
- ◆水遊び場として利用可能な場所 など



水面に橋や建物が映り込んでいる例

川づくりプラン(素案)の相反する意見について③

【議題③】

- ・高水敷を親水施設(広場)として整備
- ・浄明寺水門付近に砂洲をとばすように水制を設置

〔第5回ワークショップでの主な意見〕

- ・中ノ島の高水敷を親水広場化することは賛成である
- ・治水上安全となるように砂州をとばせばよい



川づくりプラン(素案)の相反する意見について③

～川づくりの方針～

- ・中ノ島の高水敷は親水広場化するものとし、遊んだり、散策中にゆっくりくつろげる場となるよう配慮する。
- ・水際まで近づけるようにし、周辺の学校の環境学習の場となるよう整備する。

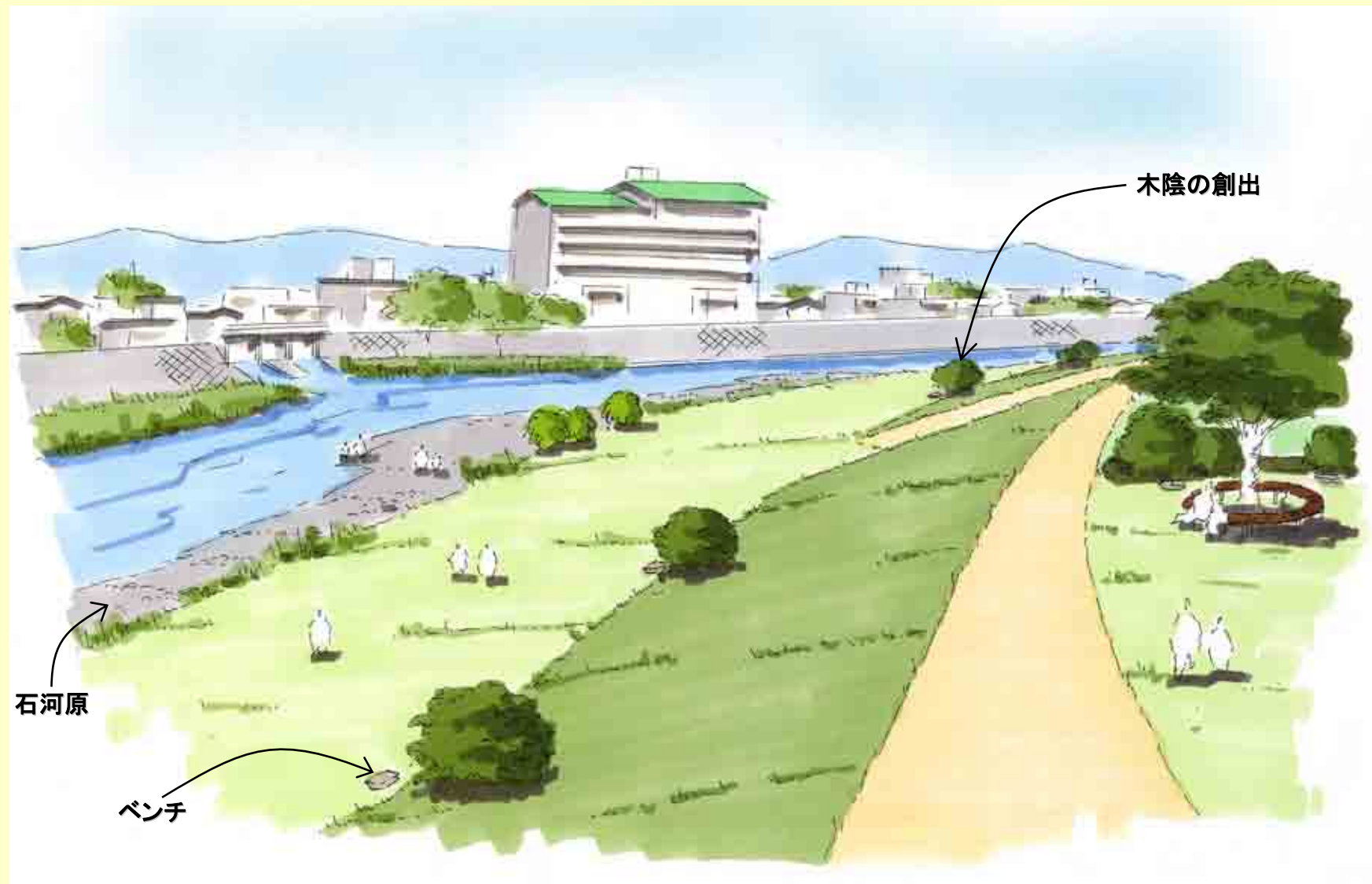


【川づくりプランへの反映】

- ・堤防から水際までの勾配を緩くし、水際に近づけるように整備
- ・水際は石河原を復元
- ・親水広場化(張芝、木陰の創出、ベンチ設置、など)

中ノ島の高水敷の整備について

〔中ノ島の高水敷の整備イメージ〕



川づくりプラン(素案)の相反する意見について④

【議題④】

- ・川全体に車が入らない
- ・浄明寺橋下流右岸に駐車場に設置

〔第5回ワークショップでの主な意見〕

- ・駐車場は周辺に配慮して設置
- ・車が駐車場から出ないようにする
- ・駐車場はいらない
- ・利用者に配慮して許容すべき
- ・カヌー利用を行うのであれば駐車場は必要である
- ・目的がある場合については、駐車場を設置してもよいのでは



川づくりプラン(素案)の相反する意見について④

～川づくりの方針～

- ・浄明寺橋下流の駐車場は、主要道路及び周辺施設とのアクセス性が良いことから、設置することとするが、周辺状況を考慮し場所を選定する。



【川づくりプランへの反映】

- ・浄明寺橋下流左岸に駐車場を整備（中ノ島高水敷へのアクセス確保）
- ・合流点付近に駐車場を整備

今後のスケジュール

【今後のスケジュール】

第6回（6月29日）

- ・川づくりプラン（素案）について討議

日田川・まちみらいづくり懇談会(7月上旬)

- ・途中経過を報告
- ・川づくりプラン（素案）への意見聴取

地域住民への情報提供（7月上旬）

- ・川づくりプラン（素案）を提示
- ・アンケート等にて意見聴取

（筑後川フェスティバル（7/1～8/26）
庄手川沿川の自治会
庄手川周辺の学校 など）

第7回（8月末）

- ・川づくりプラン（案）の策定

庄手川 川づくりプラン（案）発表

8月25日～26日の筑後川フェスタのファイナルイベントで発表。

地域住民の方へのアンケート調査について

『庄手川川づくりプラン』について地域住民の方にアンケート調査を行います。

対象：庄手川沿川の住民の方、庄手川周辺の学生、
筑後川フェスティバルに来場した方

アンケートは、回収後集計を行い、川づくりプランに反映させます。

(表)

～「庄手川の川づくり」についてご意見をお聞かせ下さい～
このアンケートは、これからの庄手川の姿を考えた「庄手川川づくりプラン」を作成する際の参考とさせていただきます。皆さんのご協力をお願いいたします。

【性別・年齢等について教えてください】

問1. 性別 ①男性 ②女性

問2. 年齢 ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上

問3. ご職業 ①農業 ②漁業 ③自営業 ④会社員 ⑤公務員 ⑥学生 ⑦その他()

問4. お住まい ①自営農() ②その他()
※お住まいが、かつこ内に地区名を記入してください。

【問4. でその他の地区と回答された方に質問です】

1) 日田にどのようなイメージをもたれましたか？

【庄手川についてお聞かせ下さい】

問5. あなたは「庄手川」といふ川をご存知ですか？
①よく知っている ②名前を知っている ③知らない

問6. 「庄手川」と聞いて(庄手川の現状の写真を見て)思い浮かぶことは何ですか？(複数回答可)
①きれいな川 ②汚い川 ③親しみやすい川 ④親しみにくい川 ⑤安全な川 ⑥危険な川 ⑦自然を感じた川 ⑧人工的に造られた川 ⑨個性や地域性のある川 ⑩個性や地域性のない川 ⑪その他()

問7. あなたは普段「庄手川」をどのように利用していますか？(複数回答可)
①通勤・通学や買い物などの通り道 ②散歩・休憩 ③釣り ④水遊び ⑤ほとんど利用しない ⑥その他()

(裏)

問8. あなたは今年「庄手川」をどのように利用したいですか？(複数回答可)
①通勤・通学や買い物などの通り道 ②散歩・休憩 ③釣り ④水遊び ⑤ほとんど利用しない ⑥その他()

問9. あなたの「庄手川」での思い出をお書き下さい。
[]

問10. 現在作成中の「庄手川川づくりプラン」(案)に(加減)賛同をどう感じていますか？ご自由に意見をください。
[]

【川に関する活動についてお聞かせ下さい】

問11. あなたは「庄手川川づくりプラン」を作成するための活動として、「庄手川川づくりワークショップ」が行われていることをご存知ですか？
①はい ②いいえ

問12. あなたは筑後川(玉穂川)で、川を利用したイベントや川の清掃等の活動が行われていることをご存知ですか？
①はい ②いいえ

問13. 今後、日田地区に關するワークショップや川の清掃などの活動に参加したいと思いませんか？
①ワークショップを見学したい ②ワークショップに参加したい ③川での活動に参加したい
④参加したくない

これで、質問を終わります。
アンケート結果につきましては、平成19年6月25日(土)の筑後川フェスティバルのファイナルイベントにて発表を行いますので、是非ご来場下さい。ご協力、ご協力ありがとうございます。

【お問い合わせ先】
国土交通省 九州地方整備局 筑後川河川事務所 調査室 河田 利雄
〒830-0505 久留米市高野 1-2-1 TEL: 0942-33-9131 FAX: 0942-33-9119
E-mail: rchikage@cpn.rnib.go.jp ホームページ: <http://www.cpn.rnib.go.jp/rchikage/>

(川づくりプラン(素案))



第21回 筑後川フェスティバルin日田

開催期間：平成19年7月1日～8月26日

〈ファイナルイベント：8月25日・26日〉

〔主なイベント〕

7月1日 :オープニングイベント

7月28～29日：水辺の楽校 2007

7月29日 : 大山ふるさと夏まつり

8月4日 : 筑後川親子源流体験

8月13～15日：水面の盆

8月25～26日：ファイナルイベント

第12回 リバーフェスタinみくま川

